

# 書道

No.490 令和3年 6月号

随分（ずいぶん）形が異なっているが、  
同時期の正書体として見る石碑と、  
非書体として見る木簡との比較をおこなってほしい。



東晋 405年 纒宇子碑

晋故振威将军建宁大  
守纒府君之墓

守纒府君之墓。  
纒府君の墓。

東晋 405年 舉宝子碑



薄治中別駕。舉秀才本郡太守。寧撫氓庶。物物  
治中別駕たり、秀才に挙げられ本郡太守たり。氓庶を寧撫し、物々



大琳臨

①の「饗(さん)」の文字を見たことありますか。405年に建立された饗宝子碑(さんぼうしのひ)の②「饗」とは同じ文字です。このほかにも漢の時代に書かれた「饗」の篆書③があります。むずかしい文字でしたが、意味は「飯をたく」でした。

中国の唐時代以前、四



①(さん)



②「饗」

③

白、両手の意味  
 ……こしきの象形  
 ……かまどの口の意味  
 ……しばやたきぎの意味  
 ……両手の意味  
 ……火の意味

<意味>「こしきを両手で持って、かまどの口からしばやたきぎを入れて火でもやす。」ことを示し、「飯をたく。」ことを表しています。

川省南部から雲南省全域の若さで死亡した宝子さね上げているところが面白いですね。

(現在のベトナム、ラオスの徳を称(たた)えたス、ミャンマーとの国境) 記念碑です。現在は雲南に任んでいたロロ族の省曲靖市の第一中学校の姓、「饗」。饗宝子碑は東晋時代に振威將軍で建寧太守在任中に二十三歳

の若さで死亡した宝子さね上げているところが面白いですね。

本文の末尾に⑦「太亨四年」の語句があります。太亨元年は402年。太亨四年は405年です。しかし、405年は年号が変わって義熙元年なのです。年号が変わって

## 遠隔の地にも見事な石碑

書きだし部 しく表現されています。④の☆印「子」を御手洗達也くんが⑥のように書きました。力強い水平の新しい楷書線を作りだす蔵録を中心とする筆運や、終筆の右する時に工夫のうえに、払いもよく特徴をとらえた作品かもしれません。百点満点です。

右と左には へなせ／なせ／

④饗宝子碑の本文書き出し部分



④饗宝子碑の本文書き出し部分



⑤題額の「太」

ルナの着生真紀子ちゃん



いたからの二つが考えられます。

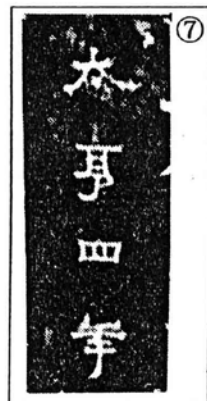
年号が変わっているの古い年号を用いている例はほかの古典に



⑥ルナの御手洗達也くん

もありませんが、何かひっかかってなりません。

当時の中心都市から離れた雲南省の遠隔の地にこのような見事な文字で書かれた饗宝子碑が建立されていることも不思議に思います。



⑦

北魏 456年 中嶽嵩高靈廟碑



太極·剖判兩儀·既分四節·



大琳臨

北魏 456年 中嶽嵩高靈廟碑



真而聖哲通靈受命之處所以巖數集神



大琳臨

楼蘭出土魏晉簡

(三国) ~ 西晋

(スタイン発見)

二月七日 詣督 泰始四年閏月六日己巳言

二月七日 詣督 泰始四年閏月六日己巳言

以驚鈍衆備員數聽事日下慙無材稱以報天施夙夜

以驚鈍衆備員數聽事日下慙無材稱以報天施夙夜

楼蘭出土魏晉簡

(三国) ~ 西晋

(ヘデイン発見) スウエーデン国立民族博物館蔵

書不得即日前胡閩那適到受城如有消息得動靜

書不得即日前胡閩那適到受城如有消息得動靜

豐量 一孤遠不得連奉陳等。

豐量 一孤遠不得連奉陳等。

告郎曲軍假司馬展知今已敬

告郎曲軍假司馬展知今已敬

從胡当散借三斛、穀褐囊一枚、故囊一張。

從胡当散借三斛、穀褐囊一枚、故囊一張。

當(当)



湖畔の  
散歩道  
木洩れ陽  
揺れて  
足取りも  
軽やかに

ななこの詩



Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2021

6 June